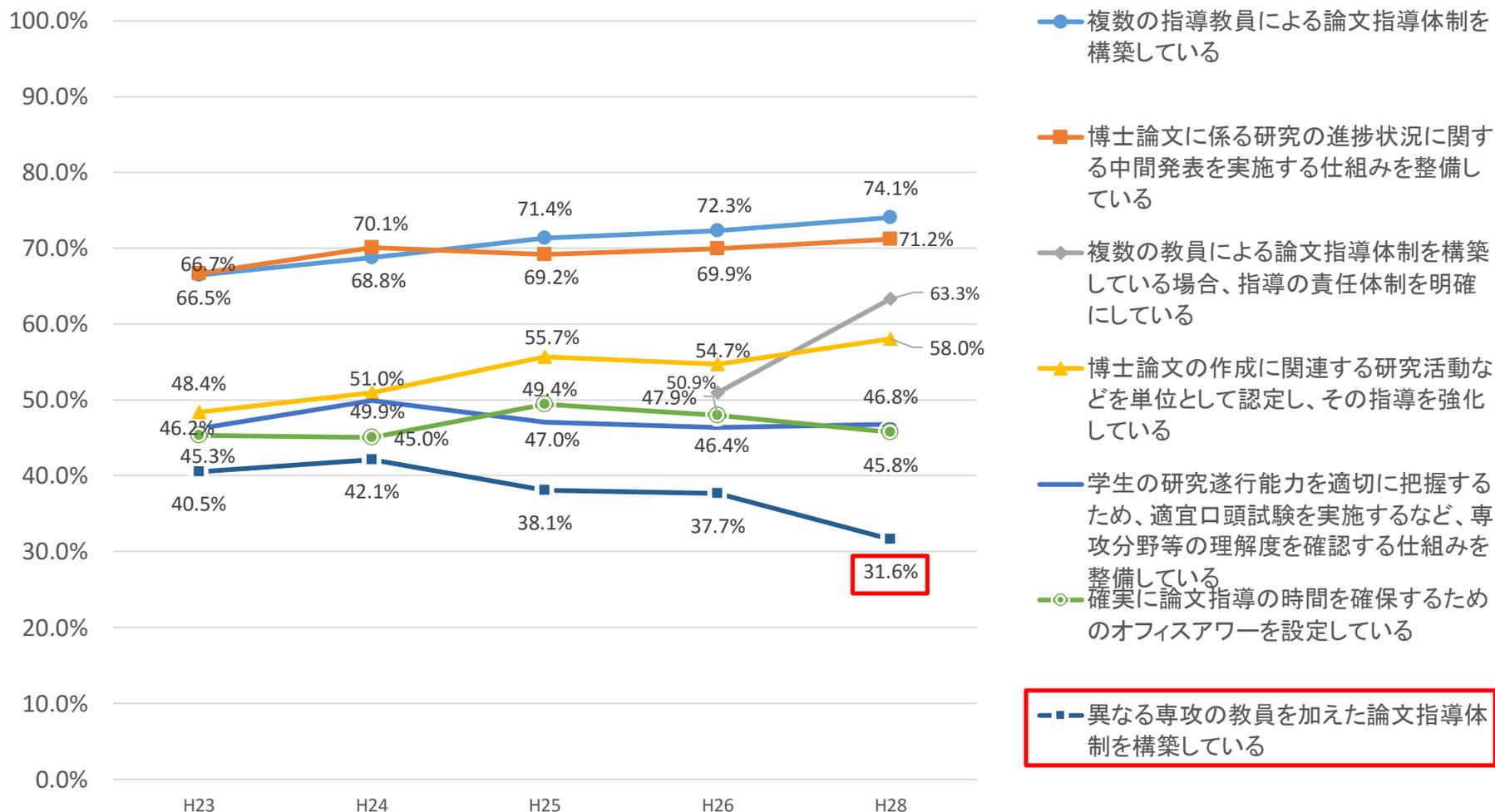


## (4) 学位授予

# 博士課程における研究指導体制に係る取組「分野別」

- 平成28年度時点で「複数の指導教員による論文指導体制を構築している」のは、約7割であるのに対し、「異なる専攻の教員を加えた論文指導体制を構築している」のは約3割と低い。

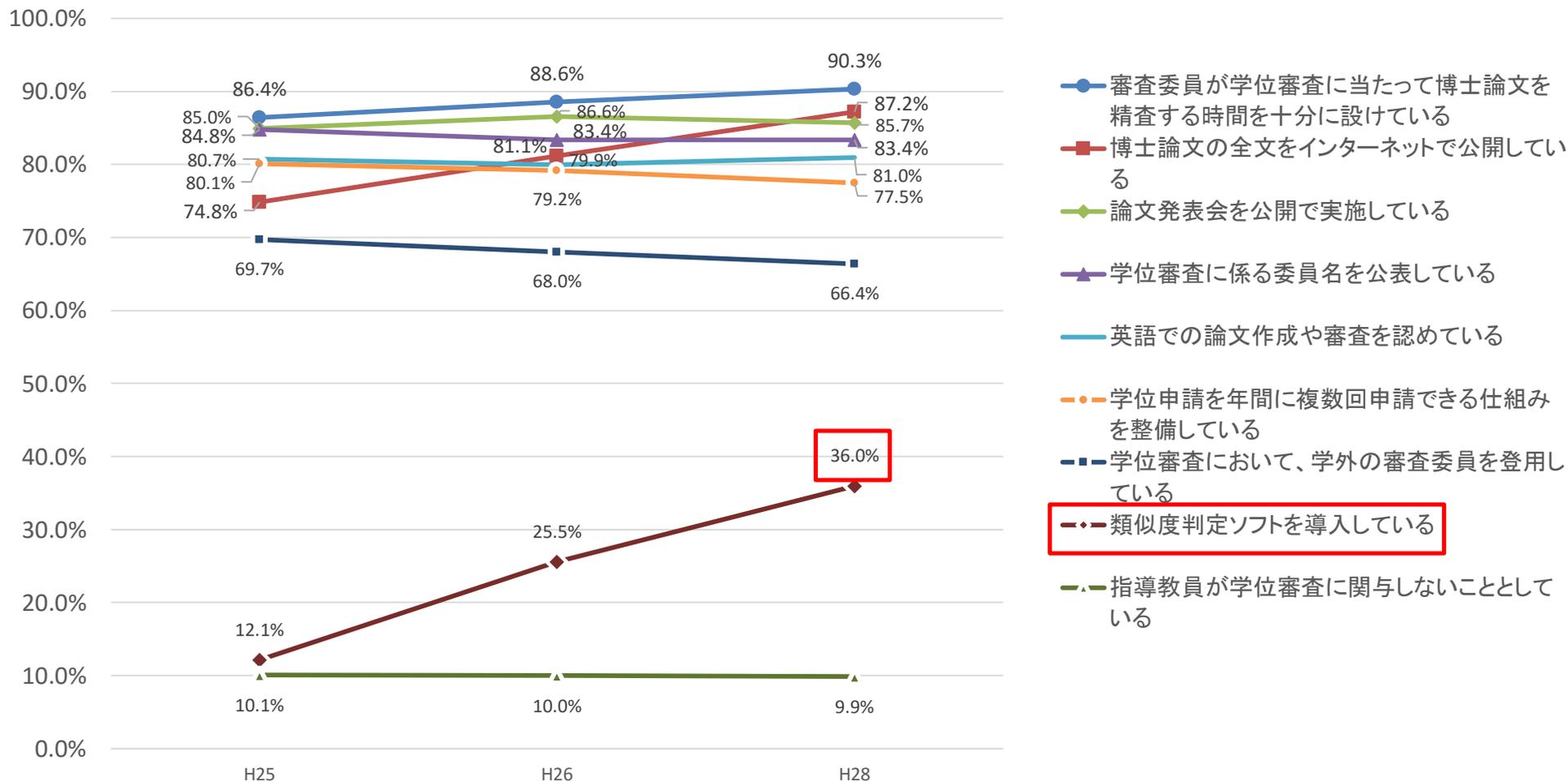


(注) 1 専攻・課程単位で調査  
2 各年度10月1日現在

出典：文部科学省委託調査「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」(平成30年3月 リベルタス・コンサルティング)

# 博士学位審査に係る取組「推移」

- 平成28年度時点で「論文発表会を公開で実施している」のは約9割、「学位審査に係る委員名を公表している」のは約8割、「学位審査において、学外の審査委員を登用している」のは約7割であるのに対し、「盗用検索ソフトを導入している」のは約4割にとどまっている。



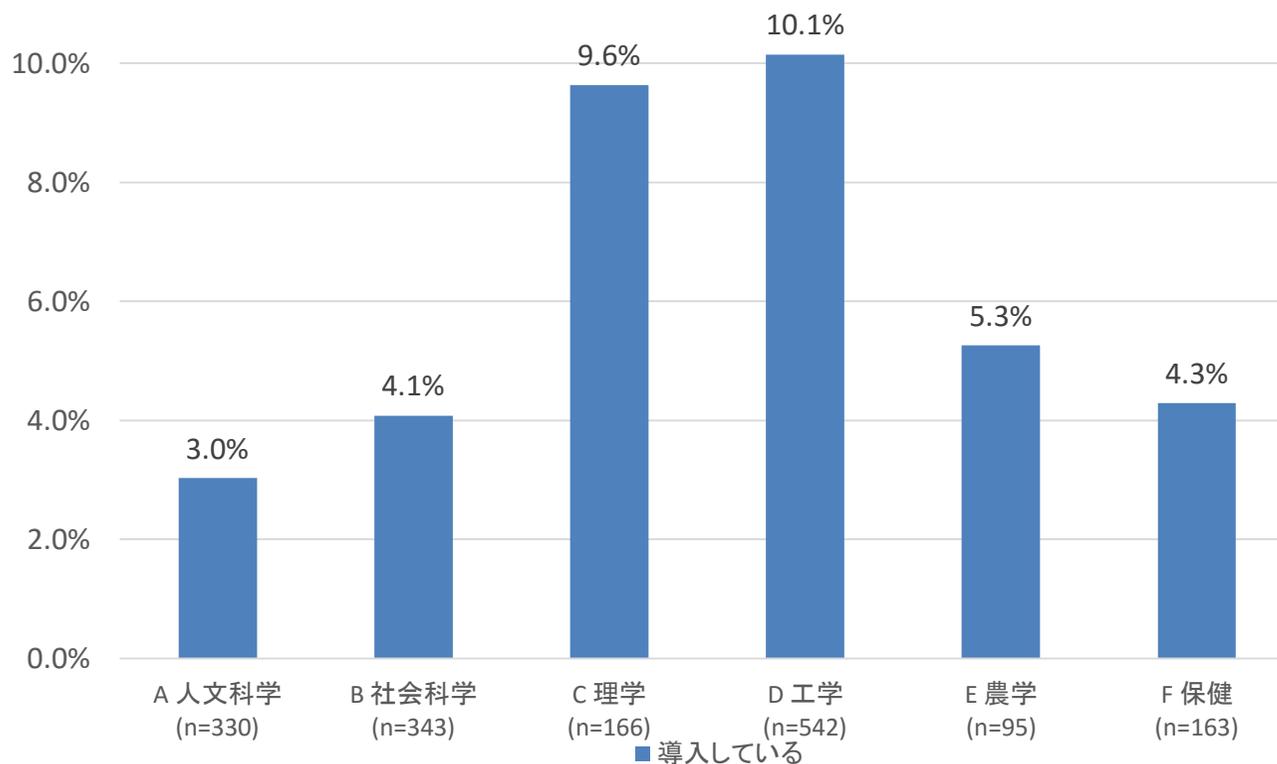
(注) 1 専攻・課程単位で調査  
2 各年度10月1日現在

出典: 文部科学省委託調査「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」(平成30年3月 リベルタス・コンサルティング)

## 博士論文研究基礎力審査の導入率

- 大学院設置基準第16条2に該当する博士論文研究基礎力審査(※)の導入率は「理学」「工学」において高い。

※博士課程の目的を達成するために必要と認められる場合には、各大学の判断により、修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代えて、①専攻分野に関する高度の知識・能力及び基礎的素養に関する試験並びに②博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力に関する審査を、前期の課程を修了し修士の学位を授与する要件とすることを可能とする制度。

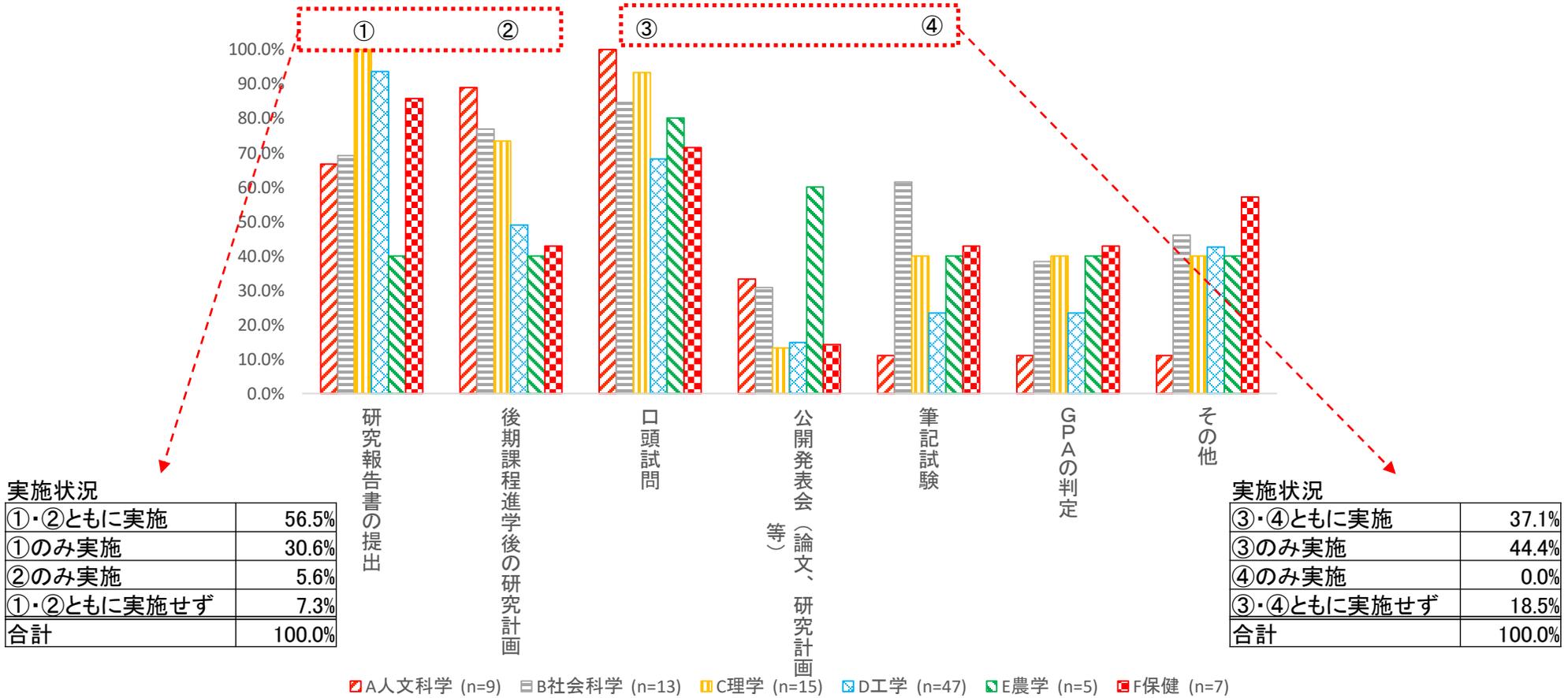


(注) 1 専攻・課程単位で調査  
2 各年度10月1日現在

出典: 文部科学省委託調査「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」(平成30年3月 リベルタス・コンサルティング)

# 博士論文研究基礎力審査の審査内容

- 審査内容としては、「口頭試問」「研究報告書の提出」「後期課程進学後の研究計画の提出」の実施率が高い。
- 「筆記試験」「GPAの判定」については、人文科学の実施率が低い。
- その他としては、「eポートフォリオを用いた学修成果の確認」「自己点検シートの提出」「書面審査」「各種研修の成果発表」などがある。



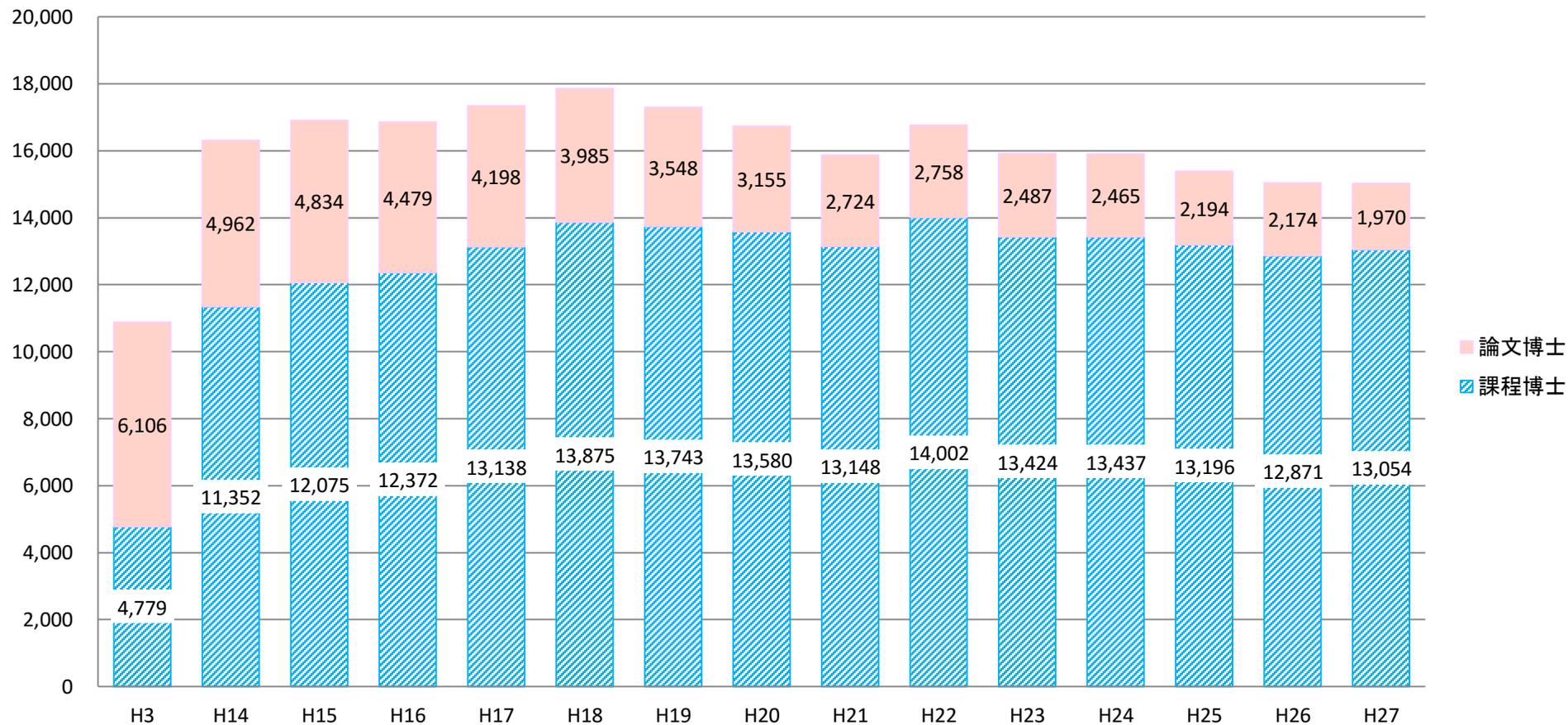
(注) 1 専攻・課程単位で調査  
2 各年度10月1日現在

出典：文部科学省委託調査「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」(平成30年3月 リベルタス・コンサルティング)

## 博士の学位授与者数の推移

- 学位授与者数は、課程博士は平成18年頃までは上昇傾向であったが、その後はほぼ横ばい。
- 論文博士は、減少傾向。

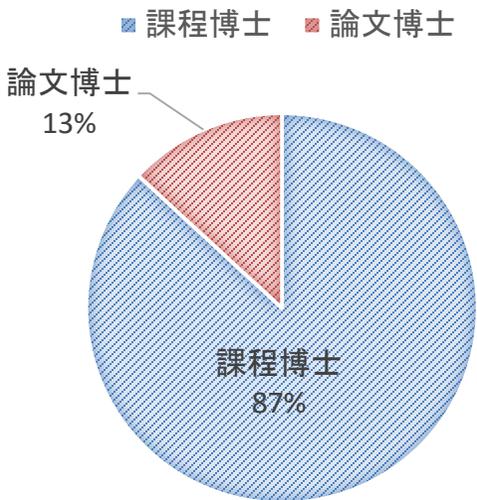
### 博士の学位授与者数の推移



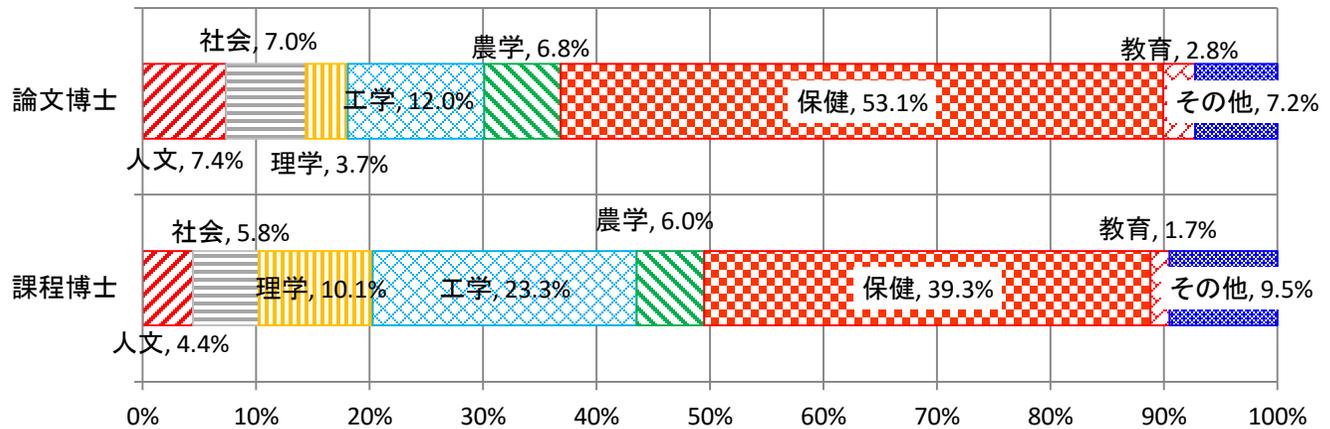
(出典: 文部科学省「学位授与状況調査」)

# 平成27年度の学位授与の状況

## ● 課程博士及び論文博士の割合と分野別構成比



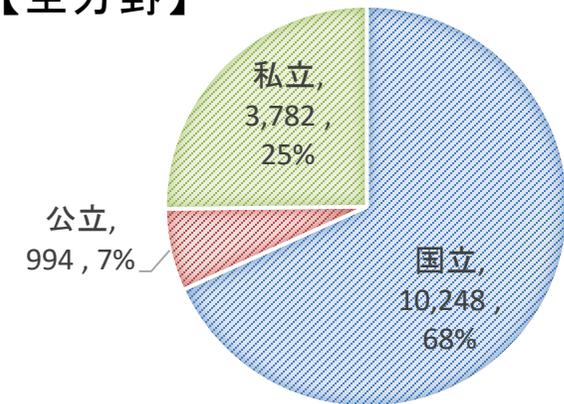
● 保健分野は、論文博士に占める割合の方が課程博士に占める割合より多く、理学・工学分野は、課程博士に占める割合が論文博士より多い。



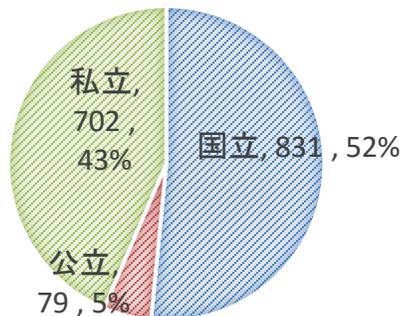
## ● 学位授与総数及び分野別授与数の設置主体別割合

● 国公私別の学位授与数は全分野における国公私の割合と比べて、人文社会分野は私立の割合が高く、理工農分野は国立の割合が高い。

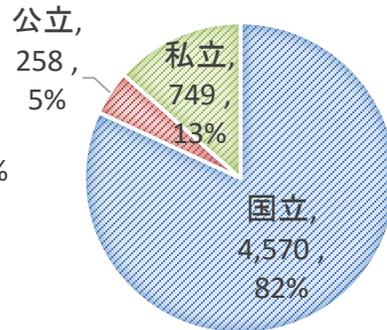
### 【全分野】



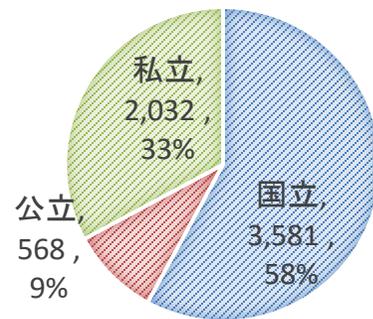
### 【人文社会】



### 【理工農】



### 【保健】

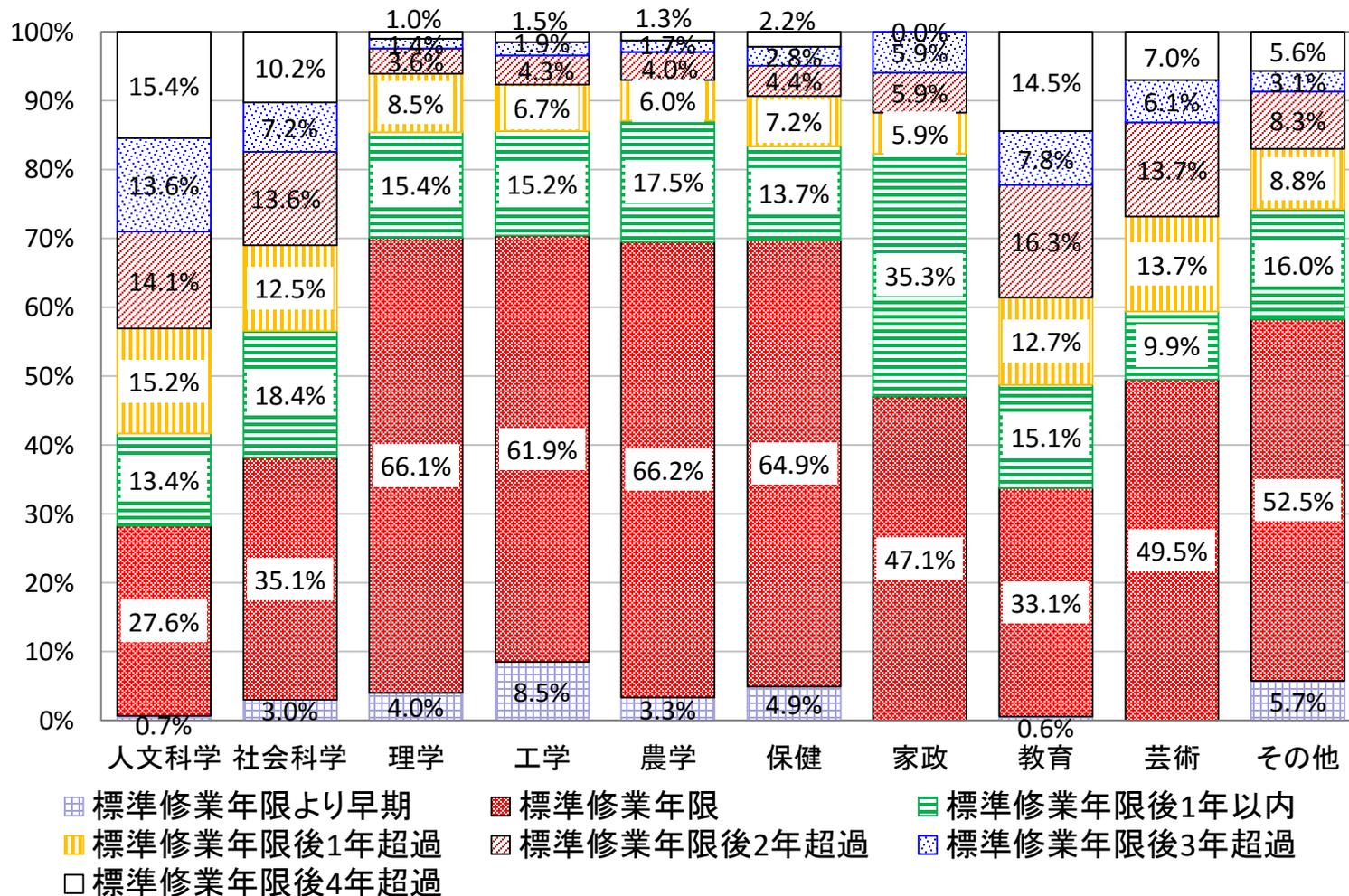


(出典: 文部科学省「学位授与状況調査」)

# 学位授与者(課程博士)のうち標準修業年限からの超過年別割合

- 「人文科学」「社会科学」において、標準修業年限から超過している割合が高い。

平成28年度 学位授与者(課程博士)のうち標準修業年限からの超過年別割合

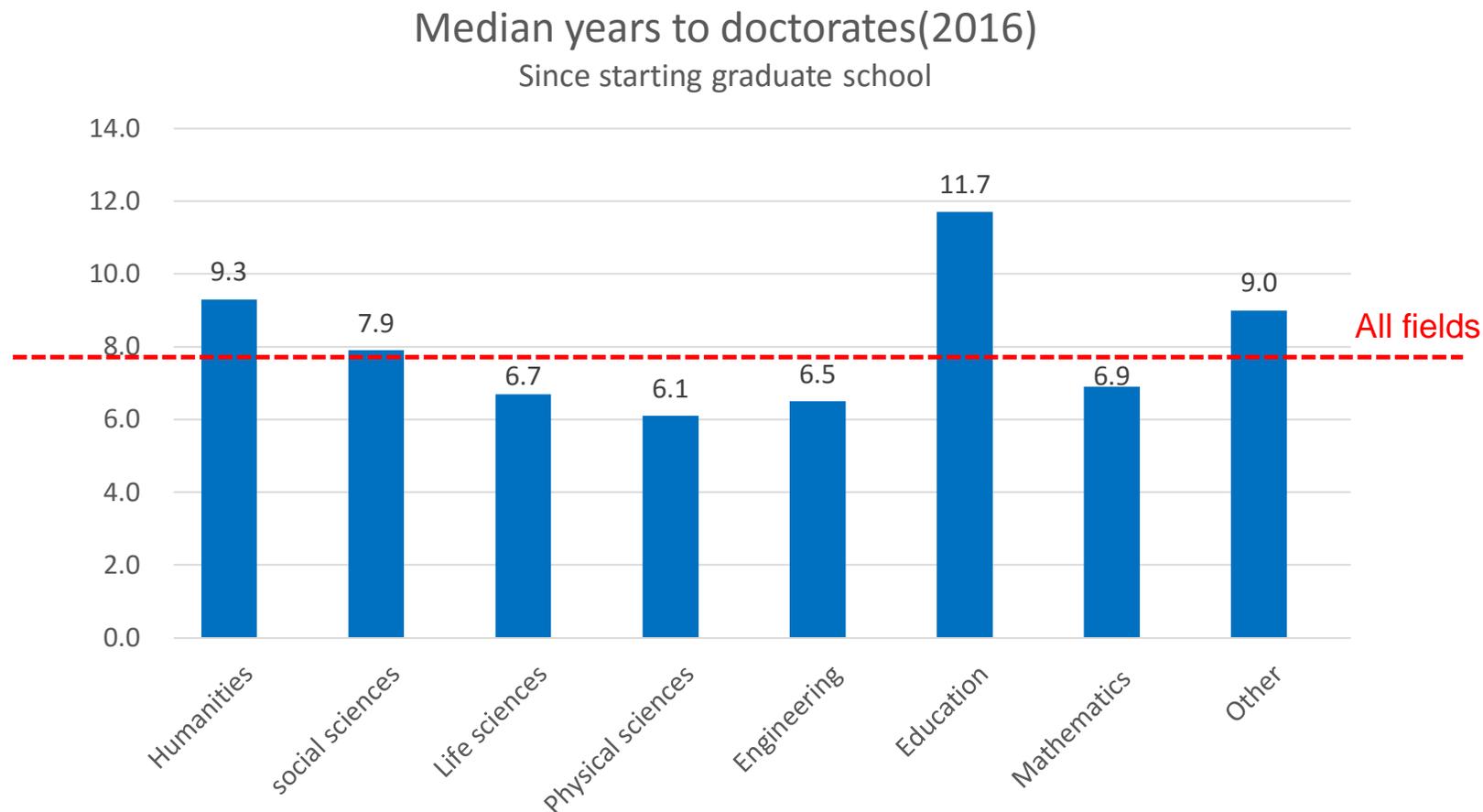


(注) 1 専攻・課程単位で調査  
2 各年度10月1日現在

出典: 文部科学省委託調査「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」(平成30年3月 リベルタス・コンサルティング)

## ■ 米国における博士号取得までの期間

- アメリカにおける博士号取得までの期間は、平均7.3年となっている。



**Life sciences** Includes agricultural sciences and natural resources; biological, biomedical sciences; and health sciences.

**Physical sciences** Includes mathematics and computer and information sciences.

**Social sciences** Includes psychology.

**other** Non-science and engineering fields not shown separately.

SOURCE: NSF Doctorate Recipients from U.S. Universities: 2016